

# 議会報告会・意見交換会を開催



市民の皆さんのご意見を生かします

市議会では、4月22日、23日の2日間、三田市役所6階委員会室において議会報告会・意見交換会を開催し、14名が参加されました。当日は、議員がプロジェクターを使って、令和5年度予算の内容や審査内容、市民の皆さんから事前にいただいたご意見・ご提案について、議会としての見解を説明し、参加者の皆さんと意見交換を行いました。意見交換会でいただいたご意見のうち、一部をご紹介します。

## 4月22日(土) 午前10時～午前11時30分

【出席議員】(班長)厚地弘行 (副班長・司会)幸田安司  
檜田充、大西雅子、井上昭吾、水元サユミ



= 参加者 = 議員

### テーマ



市民病院の再編統合について、新病院の運営体制や費用負担など議論は尽くされたのか。

議会に「市民病院のあり方特別委員会」を設置して活発な議論がされている。三田市民病院と兵庫県済生会病院との再編統合であり、神戸市は当事者ではなく、北神地域の医療行政に責任を持つ立場である。三田市の一般会計からの繰入は17億円、建設にかかる市債の返還は令和6年に完済する。建設費の高騰の話はでていたが、まだ先のことであり、具体的話とはなっていない。指定管理料36億円の予算は示されていない。住民投票については、市は動向を見守るとの見解である。



### テーマ



子どもが障害者であり、生活介護の施設3か所に通っている。市内にこうした施設が少なく、障害者や家族は将来に不安を感じるが、どう解消していくのか。

福祉関連予算については、範囲も広く不十分なところがあるかも知れないが、適切な予算が組まれていると思っている。不足があれば補正予算を組むこともできる。いずれにしても、不安の解消につながるよう今後も調査研究を継続していく。



## 令和4年度議会報告会の成果

### 令和5年度 予算に反映

令和4年度開催の議会報告会で参加者の方からいただきました「聴覚障害者団体主催の学習会等に対する意思疎通支援者派遣費用の補助を拡充してほしい」とのご意見を議会から市長に要望した結果、令和5年度予算におきまして、公費派遣の範囲を拡大する内容が反映されました。

※要望等関連記事は、「2022年8月号 三田市議会だより つなぐ」に掲載しています。

## 4月23日(日) 午前10時～午前11時30分

【出席議員】(班長)福田秀章 (副班長・司会)肥後淳三  
今北義明、北本節代、長尾明憲、小杉崇浩、林政徳

= 参加者 = 議員



### テーマ



近郊都市の立地を生かした住宅事業政策をしてほしい。また、テクノパークはどのように変わるのか。

都市近郊に近く、高速道路の結節点や豊かな自然があり、災害リスクが低いことなどが利点である。今後、第三テクノパークを整備し、新たな産業集積地を形成することになっている。また、子育て世帯に対して、空き家リフォーム補助や住み替え支援補助事業を創設して移住・定住促進をする予定である。



### テーマ



不登校児に対して、教員の不足などで、現状は十分な対応ができていないと考えるが、どのような対応をしていくのか。

担任教員での対応が前提となる。教員の総数はクラス数に応じて県が配置する。担任教員だけで対応しきれない場合は、生徒指導教員や加配教員、養護教諭などが対応している。また、支える仕組みとしてスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを配置している。別室登校には子どものサポーターを設置し補助的な対応をしている。令和5年度から子どもの心の相談員が小学校4校に配置された。



## 4月23日(日) 午後2時～午後3時30分

【出席議員】(班長)美藤和広 (副班長・司会)中田哲  
森本政直、佐貫尚子、福田佳則、木村雅人

= 参加者 = 議員



### テーマ



道路及び歩道整備にどれほどの税金が使われているのか見えない。税金の無駄使いとなっていないか。

道路、歩道における雑草の環境整備についての意見と受け止める。ご指摘の箇所は県道であり、阪神北県民局に問い合わせた結果、高木は数年に1回、低木は1年に1回剪定し、雑草については予算の関係で、年に1回除草している。防草シートやコンクリート等で除草費用を抑える取組も始めており、順次サイクルに基づいて作業している。市も景観を高めていくため、年に1回～2回除草している。他の地域ではボランティアで除草していただいております、市として感謝しているとのことである。



### テーマ



通勤で利用する道路に設置されているカーブミラーが、寒い時期には凍結し見えないことがあるため、点検していただきたい。また、とても暗い住宅地などの路地や通学路についても市で点検し改善してもらいたい。

寒冷地帯で設置されている凍結を防止するカーブミラーは、三田市では設置されていない。市に市民から同様の問い合わせがあり、市販の解氷液により保護できないか確かめたが、効果がなかったと聞いている。通学路の防犯対策は、年に1回、三田市、教育委員会、警察が連携した上で、ライトアップ、防犯カメラ設置等について取り組んでいる。安全性の取組も進める必要があるため、市民一人ひとりの気づきのご指摘を議会としてもしっかりと後押ししていく。

